

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[14]テレフタル酸ジメチル	<p>【大気】</p> <pre> graph LR A[大気] --> B[捕集 Empore Disk C18F 10L/分×24時間] B --> C[溶出^{注1} アセトン 10mL] D[内標準添加 テレフタル酸ジメチル-d4 20μg/mL 1μL^{注1}] --> C C --> E[濃縮 窒素パーージ 0.2mLまで^{注1}] E --> F[GC/MS-SIM^{注1}] </pre> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:大気の捕集をEmpore Disk C18で行い、溶出を超音波洗浄機により行い(アセトン10mL、10分間)、2500rpmで10分間遠心分離を行い、5mLを分取した。窒素パーージによる濃縮を0.5mLまで行った。内標準物質の添加はその後に行い、添加量は5ngとした。また、測定機器としてGCはHP6890、MSはMAT95XLを使用し、GC/HRMS-SIM-EIで測定した。 2:測定機器としてGCはTrace GC 2000、MSはTrace MSを使用した。</p> <p>「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p><分析原理> GC/MS-SIM^{注1}</p> <p><検出下限値> 【大気】 (ng/m³) [14] 0.012</p> <p><分析条件> 機器^{注1 注2} GCMS-QP2010 カラム DB-17 30m×0.25mm、0.25μm</p>